

ねんまつ こうつうあんぜんけんみんうんどう

年末の交通安全県民運動

令和4年12月15日(木)から12月31日(土)までの17日間

《目的》県民一人ひとりが安全を第一に考え、交通ルールの遵守と交通マナーの
実践に努めることにより交通事故防止を図る

《スローガン》安全をつなげて広げて事故ゼロへ

《運動の重点》1. 高齢者の交通事故防止

2. 夕暮れ時と夜間の交通事故防止

3. 飲酒運転等危険運転の根絶

4. 自分自身と相手を守る交通ルールとマナーの徹底



第五十八号 (冬号)



地域安全教育センター
「笑顔になれる教習所」
スルガ自動車学校
〒424-0204
静岡市清水区郷津中町522-1
0120-017-120



清水警察署交通安全係
金岩 係長

静岡県内ではまだまだ見かけることは稀ですが、二年後には規制緩和(運転免許が不要になるなど)となる見込みであり、話題性もあつて乗ってみようかなと考えている方もいらっしゃるかと思えます。ルールや危険性は正しく理解して下さい。現状では、電動式のモーター(定格出力0.6キロワット以下)により走行するものは、原動機付自転車に該当します。原動機付自転車を運転できる免許が必要(無免許運転の禁止)道路運送車両法の保安基準に適合したブレーキ、前照灯、バックミラー、ウイ

ンカーをそなえていること「整備不良車運転」「自賠責保険(共済)を契約していること」「無保険運転」
・ナンバープレートの取り付け(軽自動車の納税)ヘルメットの着用
となつており、決して「気軽な乗り物」ではありません。
安易な考えで、インターネットで購入し、そのまま道路(歩道・車道)で乗る、なんてことをすれば、各法律に触れることになり、それによって交通事故を起こせば、相手も自分も大変な思いをする事になります。
まずは、乗る以前の問題として、電動キックボードの位置づけを理解して下さい。
次に危険性です。電動キックボードのタイヤは小さいです。これが大きな影響を受け、小石やちよつとした段差でもバフンス・コントロールに影響が生じ、転倒する可能性もあります。その他にも、思ったよりもスピード

が出る
・急停止が難しい
と感ずる人も多いようです。
また、車や自転車、歩行者とすつかりすつこになつた、という話もあり、その際は電動キックボードの運転者自身が危ないと感じると同時に、相手側も同じように、それ以上に危ないと感じるわけですね。交差点での通行方法も気を付けなければいけないし、歩行者の間をぬつて歩道をはるなんて問題外。東京では、無免許運転で信号無視をしてタクシーストつかる事故や飲酒運転でスマホながら運転で救急車に追突する事故、歩行者とすつかり歩行者が重傷を負う事故など重大な事故が発生しています。保険に加入していなければ、何百万、何千万という賠償を全額



自分で負つことになり
ます。
皆さんが電動キックボードに乗るときは、正しい乗り物に、正しく乗ることをお願いします。
118番の日
清水海上保安部より
118番は、海上での事件や事故の緊急通報用電話番号で海上保安庁では西暦二〇〇〇年から運用を開始しています。二〇二一年には、一月一八日を「118番の日」として制定し広く国民の皆様様に周知しています。
●緊急電話118番について①
118番は無料です。電話をする時、すぐに海上保安庁に繋がります。電話には海上保安官が応答しますので、落ち着いて質問に答えてください。急ぎを要する事案などの場合は、電話中から出動します。

●緊急電話118番について②
スマホなど、GPS機能付きの携帯で電話すると、自動で位置を知らせることができます。救助のとき、一番大切なことは、救助を求めた人を見つけてあげること。目印の無い海の中真ん中でも、位置さえわかれば見つけて助けることができます。
●「NET118」について
聴くことや話すことには障がいがある人でも、スマホからインターネットを利用して緊急通報できる「NET118」があります。事前登録が必要ですが、チャット形式(LINEのように)通話できます。



道路交通法改正

令和5年4月26日までに、全ての自転車利用者にヘルメット着用が「努力義務化」されます。

自転車の事故は、対自動車との事故が多く、状況としては出会い頭の衝突が多くあります。

全国の令和2年の交通事故発生状況によると、ヘルメット着用の有無で比較すると、ヘルメットを着用していない人は着用している人の3倍の方が死亡しています。また、ヘルメット非着用時の事故における死者数404人のうち226人(56%)の方が頭部損傷が原因で死亡しています。自動車と衝突した場合、バランスを崩して転倒した時にヘルメットをかぶっているか否かで状況が大きく変わります。

そこで、自転車のヘルメットはどのようなものを選ぶべきなのか紹介します。



①頭の形やサイズをチェック

かぶる時に頭部に痛みや違和感があるなど、かぶり心地が悪いヘルメットだと、かぶること自体がいやになります。そのため頭の形やサイズにあったヘルメットを選ぶことが大切となります。頭の形は日本人と欧米人では多少の違いがあり、日本人の頭の形は丸くて幅が少し広めな方が多いとされています。日本のメーカーが作るヘルメットは、日本人の頭の形を考えて作られているので、海外製に比べてフィットするものが見つけやすいでしょう。

②安全基準をクリア

日本では、製品安全協会などが安全性を確認、認定した製品のみ表示が許される安全マークがあります。このようなマークには、安全性品質が保証されているだけでなく、その製品で万が一人身に対する損害があった場合、補償が受けられる可能性もあります。

(SGマーク)一般財団法人製品安全協会が認定する制度です。安全基準や事故賠償が一体となった制度で、使いやすさも安全評価の基準とされています。(CEマーク)EU加盟国間での輸出の際、統一された条件のもと安全基準の確認をすべくこの制度が設けられました。

(CPSCマーク)アメリカ国内の一般的な安全基準で、アメリカ合衆国消費者製品安全委員会が判定を行っており、ヘルメットの標準的な安全基準とされているマークです。

③重さに配慮

軽ければ軽いほど良いというわけではなく、軽すぎると逆に強度に不安がある可能性もあります。ヘルメットの重量は200〜500g程度を目安に選ぶと良いでしょう。

シミズ事故

シミズ事故とは、自動車が右折する時に歩行者と接触する事故です。清水署によると今年9月末時点で、管内100件の右折事故の約3割がシミズ事故です。県内の平均が約2割となることがわかります。原因は自動車の運転手の不注意ですが、青信号でも油断しないで横断する必要があります。



筆者の家族も事故に

私(筆者)の妻も昨年大みそかの夜、交通事故に会いました。仕事帰りでバスを降り、青信号で横断歩道を渡っていた時、右折してきた自動車に跳ねられました。近所の方からの電話で事故を知り、帰省中の長女と現場に駆けつけました。途中、「冗談だろう」と思いつつも「助かってくれよ」という気持ちに変わっていました。現場に到着すると近所の方が、毛布を持ってきたり交通整理をしてくれていました。妻の近くに行くこと、意識がありホッとしました。その後、救急車が到着し、救急病院に搬送されました。精密検査の結果、全身打撲と診断されました。帰宅したのは、元日の朝でした。妻を跳ねた運転手も病院に駆けつけてくれました。原因は、横断歩道を見ていなかったとのことでした。命は助かりましたが、この事故で妻は会社を辞めざるを得なくなり、今も運転することは出来ていません。今も事故は人生を変えます。家族の生活も狂わせます。事故に会わないよう、青信号でも周りを見て渡りましょう。